



Caché Windows サイレント ト・インストール

Version 5.1
2006-03-14

Caché Windows サイレント・インストール
Caché Version 5.1 2006-03-14
Copyright © 2006 InterSystems Corporation.
All rights reserved.

このドキュメントは、Sun Microsystems、RenderX Inc.、アドビ システムズ および ワールドワイド・ウェブ・コンソーシアム (www.w3c.org) のツールと情報を使用して、Adobe Portable Document Format (PDF) で作成およびフォーマットされました。主要ドキュメント開発ツールは、InterSystemsが構築したCaché と Javaを使用した特別目的のXML処理アプリケーションです。



Caché 製品とロゴは InterSystems Corporation の登録商標です。



Ensemble 製品とロゴは InterSystems Corporation の登録商標です。



InterSystems という名前とロゴは InterSystems Corporation の登録商標です

このドキュメントは、インターシステムズ社(住所: One Memorial Drive, Cambridge, MA 02142)あるいはその子会社が所有する企業秘密および秘密情報を含んでおり、インターシステムズ社の製品を稼動および維持するためにのみ提供される。この発行物のいかなる部分も他の目的のために使用してはならない。また、インターシステムズ社の書面による事前の同意がない限り、本発行物を、いかなる形式、いかなる手段で、その全てまたは一部を、再発行、複製、開示、送付、検索可能なシステムへの保存、あるいは人またはコンピュータ言語への翻訳はしてはならない。

かかるプログラムと関連ドキュメントについて書かれているインターシステムズ社の標準ライセンス契約に記載されている範囲を除き、ここに記載された本ドキュメントとソフトウェアプログラムの複製、使用、廃棄は禁じられている。インターシステムズ社は、ソフトウェアライセンス契約に記載されている事項以外にかかるソフトウェアプログラムに関する説明と保証をするものではない。さらに、かかるソフトウェアに関する、あるいはかかるソフトウェアの使用から起こるいかなる損失、損害に対するインターシステムズ社の責任は、ソフトウェアライセンス契約にある事項に制限される。

前述は、そのコンピュータソフトウェアの使用およびそれによって起こるインターシステムズ社の責任の範囲、制限に関する一般的な概略である。完全な参照情報は、インターシステムズ社の標準ライセンス契約に記載され、そのコピーは要望によって入手することができる。

インターシステムズ社は、本ドキュメントにある誤りに対する責任を放棄する。また、インターシステムズ社は、独自の裁量にて事前通知なしに、本ドキュメントに記載された製品および実行に対する代替と変更を行う権利を有する。

Caché および InterSystems Caché、Caché SQL、Caché ObjectScript および Caché Object は、インターシステムズ社の商標です。

ここで使われている他の全てのブランドまたは製品名は、各社および各組織の商標または登録商標です。

インターシステムズ社の製品に関するサポートやご質問は、以下にお問い合わせください:

InterSystems ワールドワイド カスタマサポート

Tel: +1 617 621-0700

Fax: +1 617 374-9391

Email: support@InterSystems.com

目次

Caché Windows サイレント・インストール	1
1 応答ファイルの記録	1
2 サイレント・インストールの実行	1
3 InstallShield サイレント・コマンド行パラメータ	2
4 サイレント・セットアップ・ログ	4
テーブル一覧	
InstallShield サイレント・コマンド行パラメータ	2
ResultCode 返り値	4

Caché Windows サイレント・インストール

Windows 用 Caché のインストール・ユーティリティは、ユーザのコンピュータに サイレント・インストールを実行するオプションを提供します。通常のインストール (サイレント・インストール以外) の場合、ユーザがダイアログ・ボックスに必要な情報を入力し、この情報からインストールを実行します。これに対しサイレント・インストールは、ユーザ入力の必要がなく、応答ファイルからユーザが入力した情報を受け取ります。InstallShield Silent アプリケーションは、実行時に必要な情報を応答ファイルから読み込み、設定情報をファイルに記録します。

サイレント・インストールを実行するには、Caché インストールの `nt` ディレクトリから **Setup.exe** インストール・プログラムを使用します。

1 応答ファイルの記録

応答ファイルは、テキスト・ファイルで、データ・エントリを含む複数のセクションから構成されています。応答ファイルを作成するには、コマンド行パラメータ `-r` を使用してセットアップを実行します。

```
Setup.exe -r
```

プロンプトに対し、適切に回答してください。InstallShield は、**setup.iss** という応答ファイルにユーザが選択した設定を記録し、Windows ディレクトリ (例えば、**C:%WINDNT** または **C:%Windows**) にそのファイルを置きます。

Windows ディレクトリから **setup.exe** を実行しない場合は、`-fl` パラメータを使用して、**setup.exe** のサイレント・インストールを実行するディレクトリと同じディレクトリに **setup.iss** ファイルを配置します。以下はその例です。

```
Setup.exe -r -fl"C:\cachekit\nt\setup.iss"
```

2 サイレント・インストールの実行

応答ファイルが作成されると、InstallShield Silent を利用してサイレント・モードでセットアップを実行できます。サイレント・モードでセットアップを実行している間に、メッセージは表示されないので注意してください。代わりに、**Setup.log** というログ・ファイルに、セットアップが成功したかどうかも含めた

セットアップ情報を取得します。ユーザは、ログ・ファイルを確認し、セットアップの結果を判断できません。

InstallShield Silent を開始するには、コマンド行パラメータ `-s` でセットアップを実行します。

```
Setup.exe -s
```

セットアップは、前の手順で作成されたスクリプトを再生します。InstallShield には、`-f1` パラメータと `-f2` パラメータがあるので、ユーザは応答ファイルの名前や位置、ログ・ファイルの位置を指定できます。“InstallShield サイレント・コマンド行パラメータ”のセクションで説明されているように、多数のパラメータを使用できます。

サイレント・セットアップが成功したかどうかを確認するには、**Setup.log** の [ResponseResult] セクションにある ResultCode 値を調べます。InstallShield は、ResultCode キーネームの後に、適切な返り値を書き込みます。

Windows ディレクトリから **setup.exe** を実行しない場合は、必ず `-f1` パラメータを使用して、応答ファイルの場所を指定してください。以下はその例です。

```
Setup.exe -s -f1 "C:\WINNT\setup.iss"
```

3 InstallShield サイレント・コマンド行パラメータ

以下の表は、サイレント・インストール・パラメータです。指定がない限り、パラメータは大文字と小文字を区別しないため、どちらの文字も使用できます。

InstallShield サイレント・コマンド行パラメータ

コマンド行パラメータ	説明
<code>-fpath¥CompiledScript</code>	代替のコンパイル済みスクリプトを指定します。コンパイル済みスクリプト (.ins ファイル) が、Setup.exe と同じディレクトリにない場合、そのスクリプトのフル・パスを指定する必要があります。_setup.dll ファイルは、.ins ファイルと同じディレクトリに配置する必要があります。例えば、 Setup -ftest.ins は、Setup.ins の代わりに test.ins を使用してセットアップを開始します。

コマンド行パラメータ	説明
-f1path¥ResponseFile	.iss 応答ファイルの代替位置および名前を指定します。InstallShield Silent の動作中にこのオプションを使用すると、path¥ResponseFile と指定されたディレクトリまたはファイルから、応答ファイルを読み込みます。これを -r オプションとともに使用すると、応答ファイルは、path¥ResponseFile で指定されたファイルに書き込まれます。-f オプションを使用する場合、-f1 パラメータは -f パラメータの後にくる必要があります。
-f2path¥LogFile	サイレント・インストールで作成されたログ・ファイルの代替位置および名前を指定します。既定では、Setup.log ファイルは Setup.ins として、同じディレクトリに生成、格納されます。-f オプションを使用する場合、-f2 パラメータは -f パラメータの後にくる必要があります。
-mfilename	InstallShield は、インストールの最後に、管理情報形式 (.MIF) ファイルを自動的に生成します。.mif ファイルは常に Windows ディレクトリに配置されているため、パスは含まれていません。filename はオプションです。特に指定がない場合、結果として作成されたファイル名は、Status.mif です。
-m1serial_number	作成した .mif ファイルに、割り当てられたシリアル・ナンバーを保存するよう InstallShield に指示します。
-m2locale_string	.mif ファイルに、割り当てられたロケールを保存するようセットアップに指示します。既定は英語 (ENU) です。ロケール文字列の総一覧は、Microsoft 社のマニュアルを参照してください。
-r	Setup.exe は、インストールの入力記録であるサイレント・インストール .iss ファイルを Windows ディレクトリに自動的に生成します。
-s	InstallShield Silent を稼動し、サイレント・インストールを実行します。
-SMS	ネットワーク接続とセットアップが、インストールの完了前に終了しないようにします。このパラメータは大文字で指定します。ネットワークを経由して Windows NT サーバから実行するインストールで有効です。

コマンド行パラメータ	説明
-z	セットアップの際、初期化に使用できるメモリをチェックしないようにします。このパラメータは、256 MB 以上のメモリを持つマシン上でセットアップを開始する場合に必要です。使用しない場合は、セットアップはメモリが不十分であると報告し、終了します。

4 サイレント・セットアップ・ログ

サイレント・セットアップのログ・ファイルの既定名は **Setup.log** で、既定の位置は Disk1 です (**Setup.ins** と同じディレクトリ)。-f1 と -f2 パラメータを使用して、**Setup.log** に異なる名前と場所を指定できます。

Setup.log ファイルには、以下の 3 つのセクションがあります。

1. [InstallShield Silent] – サイレント・セットアップで使用される InstallShield Silent アプリケーションのバージョンを識別します。また、このファイルをログ・ファイルとして識別します。
2. [Application] – インストールされたアプリケーションのバージョンと名前、および会社名を識別します。
3. [ResponseResult] – サイレント・セットアップが成功したかどうかを示す結果コードを含みます。

[ResponseResult] セクションの ResultCode キーネームには、整数値が割り当てられます。InstallShield は、ResultCode キーネームの後に、以下のような返り値を割り当てます。

ResultCode 返り値

返り値	説明
0	インストールに成功しました
-1	一般的なエラーです
-2	無効なモードです
-3	必要なデータが Setup.iss ファイルに見つかりません
-4	メモリが不足しています
-5	ファイルが存在しません
-6	応答ファイルに書き込みできません
-7	ログ・ファイルに書き込みできません
-8	InstallShield Silent 応答ファイルへのパスが無効です

返り値	説明
-9	リスト・タイプが無効です (文字列または数字)
-10	データ型が無効です
-11	セットアップ中に不明なエラーが発生しました
-12	ダイアログ・ボックスが使用できません
-51	指定のフォルダを作成できません
-52	指定のファイルまたはフォルダにアクセスできません
-53	無効なオプションが選択されました

以下は、InstallShield のサイレント・セットアップに成功した **Setup.log** ファイルの例です。

```
[InstallShield Silent]
Version=v5.00.000
File=Log File

[Application]
Name=InstallShield5
Version=5.00.000
Company=InstallShield

[ResponseResult]
ResultCode=0
```

